

二つの国際会議を経験して

機機H24 大塚 駿



二つの国際会議について

2013年8月29～31日にSecond International Symposium on Engineering Mechanics and Its Applications (EMA-KIT) が九州工業大学で開催されました。私はこの国際会議において主催側のボランティアとして参加し、会議運営の一部に携わりました。

また、2013年11月8～11日には中国杭州にある浙江大学で2013 Joint-Symposium on Mechanics of Advanced Materials & Structures (JSMAMS) が開催され、私も修士論文の研究について口頭発表を行いました。

九州工大での国際会議について

九州工業大学で開催されたEMA-KITでは、参加大学として国内外の14大学（山東大学・中国石油大学・中国農業大学・河南科技大学・大連理工大学・国立台湾海洋大学・国立成功大学・群山大学・Ghent University・Bengkulu University・有明工業高等専門学校・大分大学・琉球大学・九州工業大学）から教員及び博士後期課程大学院生が参加し、機械工学とその応用に関する最新の研究についての学術講演会と研究室等の見学会ならびに懇親会が催されました。

私はこの国際会議においてアナウンスウェブサイト更新の手伝い及び、歓迎ツアーに同行しサポートに携わりました。ツアーでは中国と台湾から参加している学生の皆さんに私たちが準備した車に便乗してもらい、

熊本城や阿蘇の自然などを楽しんでいただきました。また、熊本での3日目の夜には海外からの先生方にも参加していただき、バーベキューでもてなしました。バーベキューでは中国・香港の学生らによる感謝の歌や日本人学生らによるダンスなどで盛り上がり、親睦を深めました。4日間一緒に過ごした中国と台湾の5名の学生は皆さん博士後期課程で、年齢も28歳前後でしたので日本の学生とはずいぶん異なる印象を受けました。



バーベキューで交流

今回のツアーでは案内やコミュニケーションも当然、英語で行う必要があり、様々な点で苦労しましたが、

拙い英語でもお互いが理解し易いように単語や身振り手振りを交えることで様々な会話ができました。

中国での研究発表について

中国杭州の浙江大学で開催された2013 JSMAMSでは、日本からは東京大学、東京工業大学、国立中央大学、大阪大学、九州大学、島根大学や他大学の50以上の教員及び博士後期課程大学院生が参加し、高度な多機能材料や構造物の力学に関する最新の研究についての学術講演会ならびに中国と日本の研究者の懇親会が行われました。本会議では通常の国際会議に必要な登録料が無料となり、3日間の会議中における食事代やツアーも無料で中国側から大変親切なおもてなしを受けました。

私はこの国際会議に参加して自分の修士論文の研究について口頭発表を行いました。私の研究では、FEM解析を用いて、ポリカーボネートの高速引張試験におけるひずみ速度集中の解明を目的としています。高速引張試験は比較的新しい実験方法で現在高分子系材料メーカーでは盛んに行われています。ポリカーボ

ネート等の高分子系の構造材料は衝撃に強い反面、特性が温度やひずみ速度といった要因に左右されやすい粘弾性の材料です。この研究では切欠き試験片形状、引張速度と切欠き底のひずみ速度集中との関係を明らかにし、新しくひずみ速度集中係数を定義しました。この定義により高速引張試験で切欠き材がどのようなひずみ速度を受けているか推定することができ、その高分子材料の衝撃特性がひずみ速度にどの程度影響を受けるのか明らかにすることが可能になります。

初めての海外でしたが優秀な研究者の前で英語の発表ができたことは自分にとって大きな刺激になりました。発表自体は九州工大のランゲージ・ラウンジで英語の発表練習を行っていたので大きな問題もなく進めることができました。しかし、質疑応答の時には東大や台湾の先生方からの英語での質問をうまく聞き取ることができずにその場で答えることができませんでした。発表が終わって席に戻った時には、こういうことを言っていたのかと冷静に思い返すことができたので、リラックス



杭州の西湖で記念撮影

して質疑応答に望めたらもう少し答えることができたのかもしれない。これは今回の研究発表で唯一の心残りです。しかし、3日間とも催された懇親会の場では、答えられなかった質問を直接答える機会を得て、教授方と質問内容である粘弾性解析や動的解析手法について議論ができたのでとても良かったです。また、他の方からも質問をしていただき、私の発表時の英語が伝わっていたことに安心しました。

会議3日目の夜には「宋城千古情」というショーを観劇させていただきました

ました。歴史故事をモチーフに大規模で艶やかな歌舞劇でした。歌詞や台詞は中国語なので分かりませんが、一緒に行った九州工大の中国人留学生がモチーフの一つである「白蛇物語」は中国で有名な恋愛物語だと教えてくれました。また、4日目には1日ツアーがあり、乌镇という古都を観光しました。乌镇は観光地としての環境を整え再開発された水郷古镇です。古い木造の家屋と木造の船がのんびり漂う水路が特徴的でした。観光をサポートしてくれた現地の浙江大学生によると、ここにはまだ実際に住んでいる人がいるそうなので、後で調べてみると「枕水人家（中国の最後の水を枕にする家族）」と呼ばれるようになっていそうです。観光地らしくお土産屋も沢山あり、古い木造家屋を利用して店を営まえていました。一緒にツアーに参加された日本の先生は、中国語が堪能で値引き交渉をしながら買い物を楽しんでいました。乌镇には中国で有名な現代作家である「茅盾」の記念館があり、この乌镇で少年時代を過ごしたそうです。今では観光客が沢山おり、観光地として整備されて



古都「乌镇」の風景

いるものの、風景からは「茅盾」が過ごした時代の静かで閑寂とした様子を想像することができました。

謝辞

まず、中国での研究発表にあたり貴重なご指導と機会をいただいた野田教授と佐野先生に厚く御礼申し上げます。また、中国への渡航などの費用を援助していただき、このような貴重な機会を得たことについても明専会に心より感謝致します。そして二つの国際会議で知り合い、お世話になった全ての方々に感謝を述べたいと思います。

(平田機工株)